２０１２年１０月１９日
イオン北海道株式会社

イオン小樽チアーズクラブ　×　トップバリュ産地
エコ農園体験プロジェクト開催！！

イオン北海道では、地域のこどもたちを集めて環境学習を実施するエコクラブ『イオンチアーズクラブ』を各店舗で運営しています。このたびイオン小樽店のチアーズクラブメンバーが、イオンの店舗で販売している【トップバリュ】の農園を訪問し、収穫体験をする「エコ農園体験プロジェクト」を開催しますので、ご案内申し上げます。

今回は財団法人日本きのこ研究所の認証を受けた、ＨＡＣＣＰ(※)システムの考えを取り入れたしいたけの栽培方法や管理体制、更には世界で初めてしいたけの人工栽培に成功した　農学博士　森喜作さん（昭和 36 年小学校教材に採用され、美味しんぼ　74 巻にも掲載されています。）の思いと行動を通し、しいたけの安定供給まで至った『しいたけの歴史』についても学んでいきます。また、しいたけの収穫や菌床製造工程の見学、包装作業などを通じて、地域の農業環境や歴史について理解を深めます。
今回は、『フォーレ白老』でお世話になり、トップバリュのしいたけができるまでの過程や菌床製造を学び、おいしくできる秘密も生産者に教えていただきます。

このエコ農園体験プロジェクトは、室蘭・伊達のチアーズクラブ、北見チアーズクラブにつづき３回目となります。イオン北海道では、子ども・産地・イオン店舗・商品部門など、ステークホルダーをつなぐコミュニケーションの場として、また子どもたちに食の大切さや生産現場での取り組みを学んでもらう機会として、このプロジェクトを推進してまいります。

（※）ＨＡＣＣＰとは食品の原料の入荷から製造・出荷の全ての工程において、危害の発生を防止するための重要ポイントを継続的に監視・記録する衛生管理手法のことです。

【エコ農園体験バスツアー　スケジュール】

１．日　　時：１０月２１日（日）

８：３０	イオン小樽店　集合
８：４０	イオン小樽店店内やさい売り場で学習
８：５０	イオン小樽店出発　（バス移動 1 時間 50 分）
１１：００	フォーレ白老　坂内社長のお話
１１：２０	施設見学
１２：００	作業・収穫体験
１２：３０	パックセンターにて袋詰め体験
１２：５０	記念撮影後　昼食
１３：３０	ファームの方へ挨拶
１３：４０	フォーレ白老　出発（イベント終了）

２．体験学習地：フォーレ白老　　北海道白老郡白老町竹浦 664 番地 2
３．参　加　者：イオン小樽チアーズクラブと、そのご家族　　計３０名（コーディネーター含む）
４．主　　催：イオン㈱、イオン北海道㈱、トップバリュ㈱
５．協　　力：有限会社　フォーレ白老

【ご参考　しいたけの人工栽培について】
江戸時代の初め
九州地方で炭焼きの材料であるならの木を炭材として並べてあったところにしいたけが生えていたことから人工栽培が始まる。しかし当時の人工栽培は、ならやクヌギの丸太の表皮に鉈で刻み芽を付け、数千本並べてほうっておく、菌が飛んでくるか来ないかわからない博打のような栽培方法であった。
１９３３年、当時、京都大学の学生だった　森喜作さんが農村経済の実態調査のため、阿蘇山の西ふもとにある山村を訪れたことから始まる。
当時一帯の農家は田畑に乏しく、炭焼きやしいたけ栽培を副業とし、かろうじて生計を経てていた。
１メートル程の丸太棒が１万本近く並べられ、みすぼらしい身なりの農夫が丸太の前で手を合わせ、生きていくためにしいたけが生えるのを祈っていた。
何をしているのか　喜作さんが声をかけ、一帯の農夫の現状を知る。そこから森喜作さんの　しいたけ人工栽培にかける情熱と苦労が始まる。そしてついに、種ゴマの発明から現在の安定供給に至る。